

平成20年度千葉県のバランスシート等の財務諸表について（概要）

平成22年4月28日
千葉県総務部財政課
電話 043-223-2072

- 地方公共団体の資産・負債などのストック情報を明らかにし、財政の透明性の向上を図るため、**貸借対照表等の財務諸表**を作成しました。
- 今回の貸借対照表（バランスシート）では、民間の企業会計に準拠した財務書類とするため、「売却可能資産」について時価評価を導入するとともに、貸付金などの債権について「回収不能見込額」を計上するなど、「**正確な資産・負債の把握**」に努めています。

《財務諸表の主なポイント》

1 普通会計貸借対照表（バランスシート）

- 資産総額は5兆4,619億円（^⑩5兆4,264億円）、負債総額は3兆4,088億円（^⑩3兆2,952億円）で、純資産総額は2兆531億円（^⑩2兆1,312億円）です。
- 資産総額については、投資的経費を抑制する一方で、有形固定資産の減価償却が進んでいるため、**公共資産は減少**していますが、国の経済対策に伴う基金の積立などにより、**基金残高が増額**していることから、**増加（355億円）**となっています。
- 公共資産のうち、100㎡以上の未利用県有地で**売却可能な資産は、132億円**（時価評価を実施）となっています。
- 貸付金などの債権のうち、**回収不能となることが見込まれる金額は、35億円**となっています。
- **負債総額**は、地方交付税から振り替えられた臨時財政対策債などの**地方債の増額**により、**増加（1,136億円）**しています。
- 県民一人当たりについて見ると、**資産は89万2千円、負債は55万7千円**となっています。

2 普通会計行政コスト計算書

- 行政コストは1兆1,853億円（⑩1兆2,076億円）で、その49%を人件費等の「人にかかるコスト」5,866億円（⑩6,043億円）が占めています。
- 県民一人当たりの行政コストは19万4千円です。

3 公営企業等を含めた貸借対照表（バランスシート）

- 普通会計に、県立病院、水道局や企業庁といった公営企業会計等を含めた貸借対照表では、資産総額は7兆5,745億円（⑩7兆5,555億円）、負債総額は3兆9,339億円（⑩3兆8,659億円）で、純資産総額は3兆6,406億円（⑩3兆6,896億円）です。

4 連結貸借対照表（バランスシート）

- 県全体の貸借対照表に、県と連携協力して行政サービスを実施している、一部事務組合・地方三公社及び第三セクターを加えた連結貸借対照表では、資産総額は7兆7,951億円（⑩7兆8,005億円）、負債総額は4兆614億円（⑩4兆144億円）で、純資産総額は3兆7,337億円（⑩3兆7,861億円）です。